

「ワンヘルス」をテーマに学术交流が開催されました!!

九州大学（アジアオセアニア研究教育機構）と上海交通大学（グローバルヘルス学部）との間で、「ワンヘルス：人獣共通感染症とデジタルヘルス」をテーマにサイエンスオンラインプログラムがオンライン（Zoom）により開催されました。

中国と日本の産学官の連携において、人獣共通感染症とデジタルヘルスの分野における「ワンヘルス」に関する科学的知識と経験を共有すること、中国と日本の「ワンヘルス」に関連する共同研究または共同活動を促進するために開催されたものです。

第2日目の2022年2月17日（木）、**「ワンヘルス：人獣共通感染症・多剤耐性菌」**では、当協議会の藏内勇夫会長（日本獣医師会会長）が『開会の挨拶』を行いました。

過日、九州大学研究推進コーディネーターの横田文彦准教授立会いの下『開会の挨拶』の録画撮りが行われました。



藏内会長は、挨拶の中で、次のように述べられました。

「ワンヘルス」が私のライフワークとなりましたきっかけは、2013年に、日本獣医師会と日本医師会との間で「ワンヘルス推進のための学術協定」を締結したことでした。日本獣医師会の会長は私、日本医師会の会長は、私とは同郷（筑後地方）の友人であります横倉義武氏で、彼は、2017年に世界医師会会長に就任しています。

日本獣医師会会長に就任した私が、横倉氏に、親しい二人が同時期にそれぞれ獣医師会と医師会のトップにいるというのは何かの縁であり、一緒に取り組もうと声をかけたのが始まりです。

もちろん、それ以前(2010年)から、日本獣医師会では、「動物と人の健康は一つ。そしてそれは地球の願い。」という活動指針を制定し、この問題に取り組んでいましたが、この協定によって、ワンヘルスの実現に取り組むという私の思いは信念に変わりました。

その後、日本獣医師会と日本医師会は、連携して、人獣共通感染症や多剤耐性菌に関するシンポジウムを開催し、また、2016年には第2回世界獣医師会・世界医師会“*One Health*”に関する国際会議を私と横倉氏2人の地元福岡(北九州市)で開催いたしました。

この国際会議において、医師と獣医師が協力してワンヘルスの実践に取り組むという「福岡宣言」が採択されたこと、さらに福岡県でワンヘルス推進基本条例が制定され、条例に基づき様々な具体的な取組が進んでいます。

ワンヘルスの主要な課題の一つであり、グローバルヘルスの目的は、国境を越えて伝播する感染症の制御です。あらゆる人、動物、モノが国境を超えて、高速に往来するグローバル化した世界では、国内外の関係者が連携し、感染症の脅威への対応能力を高め、危機管理に取り組むことが不可欠です。

最後にひとつお知らせがございます。

アジア・オセアニア等の23の国又は地域が加盟する「**アジア獣医師会連合(FAVA)**」の**21回目となる大会**が、「アジアからのワンヘルスアプローチ」をテーマとして、本年11月11日から13日までの日程で福岡市において開催されます。私は、FAVAの会長として、各国からの参加者の皆様をお迎えすることになっており、今回のプログラム同様に、ワンヘルスに関する大変興味深いプログラムが展開されることと思います。ホームページでもご案内をしておりますので、是非、皆様にも、ご覧いただき、関心を持っていただければ幸いです。

今回のプログラムが成功いたしますこと、また、上海交通大学並びに九州大学の益々のご発展、そして、ご参加の皆様のご健勝とご活躍を祈念いたしまして、私の開会のご挨拶といたします。

(一部抜粋)

2022年2月25日

福岡ワンヘルス協議会・事務局